

1 主題名 広い心 B【相互理解, 寛容】

教材名 「折れたタワー」

2 主題設定の理由

【子どもの実態】

- 本学級の子どもたちは、これまでの学習で、よりよい人間関係を構築するためには、自分の考えや意見を相手に伝えたり、自分と異なる意見に耳を傾けて相手を理解しようとしたりすることの重要性を感じることができている。しかし、自分の思いを優先したり、自分の立場を守るために友達の失敗や過ちを非難したり、自分と異なる意見を素直に受け止めたりすることができていない子もいる。
- 自分の考えをもつことはできているが、目的を意識して話し合ったり、話し合うことで新たなものの見方・考え方があることに気付いたりすることが少ないため、話し合うよさを実感できていない子が多い。
- 道徳的価値に基づき、自分を振り返ることで、これからの自己の生き方について考えることができている。一方で、何を学んだのかについて実感できていない様子が見られる。

【内容項目に関して】

- 「寛容」とは、広い心で自分と異なる意見や立場を受け入れ、大切にすることである。そのために、自分と異なる意見や立場をもつ者同士が互いを尊重することや自分に対して謙虚な姿勢が必要になる。これらは、多様な人間が共によりよく生きながら、広がりや深まりのある人間関係を築くことや創造的で建設的な社会をつくっていくためにも必要な資質・能力である。
- 本主題に関しては、中学年において、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすることを学習する。本主題では、自分に不利益なことが起きた場合でも、自分本位に考えるのではなく、自分の至らなさや非を謙虚に見つめる大切さを感じさせる。これは、第六学年での互いの違いを認め合い理解しながら、自分と同じように他者を尊重する学習に発展していく。

【教材の価値】

- 自分の大切なものを故意ではないが壊されてしまった時に、じつとうつむく相手の気持ちや状況を見てどうしようかと悩む主人公の心の揺れに共感しながら考えることができる教材である。主人公が相手を許した理由を考え、友達と対話するなかで自分も同じ失敗や過ちを犯すことがあると自覚し、広い心で相手を受け止めることでねらいとする寛容の理解に向けて内面的な自覚を深めていくことができる教材である。
- 相手の失敗や過ちに対する自分の心情と行為に関するアンケートの結果から、自分自身のこれまでの人との関わりを振り返るとともに、これからの自分について考えることで、寛容についての価値を自覚し、実践への意欲を高めていくことができる教材である。

【見方・考え方を深める「対話」】

本時指導にあたっては、まず、「つかむ段階」で相手の失敗や過ちを許せた時と許せなかった時を振り返り、心情と行為のずれから本時のめあてをつかませる。次に、「深める段階」では、教材「折れたタワー」をもとに、ひろしが失敗を犯したのりおの気持ちや状況を考えることで、自分も失敗や過ちを犯すことがあるからと自覚すると相手の失敗を許す心が芽生えることを捉えさせる。また、誰にでも失敗や過ちをすることがあると理解すれば、さらなる人間関係を育むことができることに気付かせる。さらに、相手とよりよい関係を築くためには、相手の立場に立ち、広い心で相手の失敗を受け止め、許すことが大切であることを捉えさせることで、寛容の価値を明確化する。そして、「見つめる段階」では、これまでの自分の経験をもとに振り返り、これからの相手とのよりよい関係の築き方を考えることで実践への意欲を高めることができるようにする。

対話1では、ひろしの心情を明らかにし、ひろしがのりおの失敗を許した行為の理由を対話する活動を仕組む。対話することで、自分も失敗や過ちをしてしまう場合があることに気付かせる。また、相手の気持ちや状況を理解し、広い心で相手の失敗を許すことでよりよい関係を構築できることに気付かせ、ねらいとする寛容の理解に向けて、内面的な自覚を図る。

対話2では、寛容の価値理解をもとに自分を見つめ、これまでの自分はどのように考え行動していたか、どのように深まっていったか、これからの自分はどのように実践していきたいかを考える活動を仕組む。対話することで、互いの考えやこれから取り組んでいきたいことを知ることができ、自他の考えの深まりや対話のよさを実感することで、これからの実践の意欲を図ることができる。

4 ねらい

- よりよい人間関係をつくりたいと思うとき、相手の立場に立って物事を考えたり自分を振り返ったりすることで誰にでも失敗や過ちはあることがわかり、広い心で相手を許そうとする心情を育てる。
- 主人公の心の揺れや変化を捉える活動を通して道徳的価値を見だし、これまでの生活経験における自分の良さや不十分さを振り返ることにより、広い心で相手の失敗や過ちを許す心情を感得することができるようにする。

5 準備 挿絵 学習プリント アンケート結果

6 展開

展開	学習活動と内容	主な支援 (※主要発問)
つかむ	<p>1 相手の失敗や過ちを許せた時と許せなかった時を振り返り、心情と行為のずれから本時学習のめあてをつかむ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>【許せた時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由がわかったから。 ・謝ってくれたから。 </div> <div style="font-size: 2em;">↔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>【許せなかった時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊ぶ約束をやぶられたから。 ・話を聞かず否定されたから。 </div> </div> <p style="text-align: center;">相手とよりよい関係でありたい</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>よりよい関係をつくるためにどんな心が大切だろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケートの結果をもとに、本時学習の方向性をつかませるために、相手とよりよい人間関係をつくりたいという思いと自分の行為を考えさせることで、ずれを明らかにする。
深める	<p>2 教材「折れたタワー」をもとに、登場人物の気持ちや考えについて対話し、広い心で相手を許すことの良さを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ じつとうつむくのりおの様子を見ていた時のひろしの気持ちを心のメーターで表し、相手の気持ちや状況を考えるひろしの心を明らかにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・満足のいく作品を壊されて悔しい。 ・ぼくがマスクを忘れた時はすごく怒鳴ってきたし。 ・許してくれなかったから、ぼくも許したくない。 ○ ひろしがのりおを許した理由を考え、根拠をもとに対話する。(対話1) <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">相手の立場を考える心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分も責められたことがあって、うつむくのりおの気持ちが分かるから。 ・のりおは掃除をしていただけで、わざとタワーを折ったわけではないと思ったから。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">自分を振り返る心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・失敗をすることは誰にだってあるし、自分も失敗することがあるから。 ・のりおの姿を見てあの時のぼくと同じだと気づき、のりおを一方向的に攻めることができなかつたから。 </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「相手を許す」ことのよさを見つける。 <ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを理解し合えるともっと仲良くなれる。 ・自分も相手も優しい心になって、困った時は助け合える関係になる。 ・みんなが相手のことを考えると自分が失敗した時も心が軽くなる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>二人の関係を考える心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悔しい気持ちはあるけれど、わざとじゃないし、失敗を許した方が自分の心も成長できると思ったから。 ・誰にでも失敗することがあるから、のりおを許すことができたなら二人は前より仲良くなれると思ったから。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>だれにだって失敗することはあると考える心 相手の立場になって考え、失敗を受け止める心</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ひろしにとって、のりおは簡単に許せる相手ではないことに気付かせるため、マスクを忘れたことを責められた時のひろしの心情を想起させる。 ※ どうしてひろしはのりおを許せたのだろう。 ○ ひろしの行為について自分の考えをもたせ、その根拠と許した決め手について友達と対話させ、誰にでも失敗はあることを理解すればさらなる人間関係を育てることに気付かせる。 ※ 「相手を許す」ことができると、どんないいことがあるだろう。 ○ 広い心で相手を許すことで相手だけでなく自分の気持ちも軽くなることに気付かせるために、自他の気持ちや関係にもたらす良い影響について考えさせる。
みつめる	<p>3 これまでの自分を振り返りながら、今後の自分の生き方に対する思いや願いをもち、友達と対話する。(対話2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 追求した価値をもとに、「今日の学習で」を書く。 ○ 友達と対話し、実践意欲を高める。 <ul style="list-style-type: none"> ・友達と遊ぶ約束をしていたのにその子が約束を忘れて他の友達と遊んでいたのが許せず、けんかをしたことがあった。でも、忘れてしまうことは私にもあるし、声をかけて一緒に遊べばよかったと思う。これからは相手と仲良くできる方法をもっと考えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 追求した価値をもとに、広い心で相手を受け止めることの良さについての考えをつくり、対話することで価値の内的自覚を図る。

